

平成 30 年度 八洲学園高等学校事業計画書

1. 施設の概要

(1) 設置会場 (キャンパス) 一覧

| 名称 | 所有区分 | 郵便番号 | 所在地 | 電話番号 | FAX 番号 |
|----------|------|----------|------------------------------|--------------|--------------|
| 本校事務センター | 法人所有 | 593-8327 | 大阪府堺市西区鳳中町 7-225-3 | 072-262-5849 | 072-262-8282 |
| 堺本校 | 法人所有 | 593-8327 | 大阪府堺市西区鳳中町 8-3-25 | 072-262-8281 | 072-264-0950 |
| 大阪中央校 | 法人所有 | 540-0004 | 大阪府大阪市中央区玉造 1-3-15 | 06-6762-1248 | 06-6762-1249 |
| 梅田キャンパス | 賃貸 | 530-0003 | 大阪府大阪市北区梅田 1-3-1 大阪駅前第一ビル 2F | 06-6343-1173 | 06-6343-1174 |
| 三宮キャンパス | 賃貸 | 651-0086 | 兵庫県神戸市中央区磯上通 8-1-33 幸和ビル 2F | 078-261-2835 | 078-261-2836 |
| 横浜分校 | 法人所有 | 220-0021 | 神奈川県横浜市西区桜木町 7-42 | 045-312-5588 | 045-312-5606 |
| 新宿キャンパス | 賃貸 | 160-0022 | 東京都新宿区西新宿 7-11-18 711 ビル 7F | 03-3225-5491 | 03-3225-5494 |
| 池袋キャンパス | 賃貸 | 171-0022 | 東京都豊島区南池袋 3-11-10 ペリエ池袋 4F | 03-5954-7391 | 03-5954-7503 |
| 町田分室 | 賃貸 | 194-0022 | 東京都町田市森野 1-27-14 | 042-851-7192 | 042-851-7193 |

2. 学生 (生徒) の概要

(1) 設置課程・学科・収容定員・在籍者数一覧 (平成 29 年 5 月 1 日現在)

| 設置課程 | 設置学科 | 入学定員 (人) | ①収容定員 (人) | ②正科生 在籍者数 (人) | ③技能連携 在籍者数 (人) | ④聴講生数 (人) | 収容率 (%) (②+③) ÷ ① × 100 |
|---------------|------|-------------|--------------|---------------------|----------------------|--------------|----------------------------|
| 通信制課程 (広域) | 普通科 | ※※※※※※ | 3,000 | 1,022 | 322 | 100 | 44.48% |

※④は通年での登録者数

(2) 平成 30 年度入学者数・卒業者数・転学者数・退学者数・除籍者数予測一覧 ※ 3 月初旬の対象者の数値のため、予想値

| | 入学者数 (途中転編含む) | 卒業者数 | 転学者数 | 退学者数 | 除籍者数 | 増加予測人数 |
|-----|---------------|------|------|------|--------|---------|
| 正科生 | 690 | 534 | | 7 | 約 20 名 | 約 100 名 |
| 聴講生 | 70 | — | — | — | — | — |

3. 教職員関係

(1) 平成 30 年度管理職の概要

| 職名 | 氏名 | 備考（留任・新任等） |
|-----|--------|------------|
| 校長 | 林 周剛 | 留任 |
| 教頭 | 南條 将範 | 留任 |
| 教頭 | 吉田 士文 | 留任 |
| 教頭 | 多田 浩之 | 留任 |
| 事務長 | 堀田 由紀子 | 新任 |

(2) 平成 29 年度教職員の概要（平成 29 年 5 月 1 日現在）（教員）（ ）は管理職の数。非常勤講師 関西一堺本校、関東一横浜に集約。

| | | 合計（人） | 堺本校 | 事務C | 大阪中央 | 梅田 | 三宮 | 横浜分校 | 新宿 | 池袋 | 町田 |
|----|-----|--------|-----|-----|------|----|----|------|----|----|----|
| 教員 | 本務 | 44 (3) | 8 | 3 | 3 | 4 | 2 | 8 | 4 | 6 | 1 |
| | 非常勤 | 89 | 50 | | | | | 39 | | | |
| 職員 | 本務 | 14 (1) | 1 | 5 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | |
| | 兼務 | 5 | | 5 | | | | | | | |

平均年令 ①専任・常勤の平均 教員 男 37歳 女 39歳 職員 男 - 歳 女 35歳

②非常勤講師の平均 男 57歳 女 45歳

平成 30 年度予定 非常勤講師 関西一堺本校、関東一横浜分校に集約。

| | 採用区分 | 合計（人） | 堺本校 | 事務C | 大阪中央 | 梅田 | 三宮 | 横浜分校 | 新宿 | 池袋 | 町田 |
|----|------|--------|-----|-----|------|----|----|------|----|----|----|
| 教員 | 本務 | 44 (3) | 8 | 3 | 3 | 4 | 2 | 8 | 4 | 6 | 1 |
| | 非常勤 | 89 | 50 | | | | | 39 | | | |
| 職員 | 本務 | 14 (1) | 1 | 5 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | |
| | 兼務 | 5 | | 5 | | | | | | | |

4. 事業の概要

(1) 事業の概要

- 1、ベーシックサポートクラス・マイスタイルサポートクラスの定着化
- 2、ホームサポートクラスの人数増
- 3、中等部の人数増
- 4、生徒・保護者・一般の方に向けた特別公開講座の開設
- 5、大阪中央校、町田キャンパスの定着化

(2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

サポートクラス（B、M、H）の入学生（転編入生含む）の昨年度比100%が目標です

中等部は各施設で年間20名合計160名の登録もしくは施設利用が目標です。

大阪中央校、町田分室は運営開始3年目の為、近隣地域の中学・高校・その他教育関係施設への広報を重点的に行います。

① 主な事業の計画

| 年度 | 事項 | 概要 | 進捗状況 |
|----|----------------------------------|---|--|
| 30 | サポートクラス運営の定着化 ホームサポートクラスの入学者増 | 3 学年がすべて揃ったサポートクラスの生徒入学者数を安定的に受け入れ、運営内容の充実を図り、運営を定着化させる。 また、不登校生や支援を要する生徒さんに対する、学習サポートをさらに拡充し、ホームサポートクラスの入学者数を増やす。 | 平成 24 年度より募集開始。 平成 29 年度の実績は会計書類参照。 |
| 30 | 中等部 | 平成 26 年度より新規で開設した中等部の登録者数を増やす。 不登校の中学生に対し新たな学び場を提供し、所属中学校への学習復帰の一助となる。 | 平成 26 年度より新規開設。 |
| 30 | 大阪中央校、町田キャンパスの定着化 | 平成 28 年度開設の大阪中央校、町田キャンパスの入学者数を増やす為に、近隣地域の中学・高校・その他教育関係施設への広報を重点的に行う。 | 平成 28 年度運営開始 |

② 施設・設備の整備計画

堺本校（3号館）耐震改修工事（金額見積もり中）

(3) その他

①授業料変更等

| | | 概 要 |
|----|---------------|-----|
| 30 | 1 単位 10,000 円 | |

②卒業生数、就業者数、学位授与数の見込みについて

2、(2) の実数値を参照

③ 学生生徒の就職、進学状況について (30 年 3 月卒業予定者 430 名・技能連携校 102 名 合計 534 名の内

- ・ 大学進学者：80名 短期大学進学者：-名 専門（各種）学校進学者：70名 就職内定者（学校斡旋のみ）：10名
(H30. 3月現在で未確定のため予定数)

④教職員採用・退職計画

| 年度 | 事 項 | 概 要 |
|----|----------------------------------|--|
| 30 | 教職員採用 (1 年契約:常勤・非常勤講師・パート・アルバイト) | 常勤講師 (1 年契約・2 名)、 非常勤講師 (1 年契約・約 80 名)、 パート・アルバイト (1 年契約・約 10 名) サポートスタッフ 8 名程度 |

⑤今後の課題について

- ・ 平成 28 年度に開設した施設で安定した運営行うために、早急に一定数の入学者および生徒数の確保が必要。
地域密着の取り組みを行い、近隣エリアに在住の方がより安心して通学してもらえる学校運営を行う必要がある。

5. 財務の概要 (別紙参照)

サポートクラスの入学者数が安定しているため、クラス費収入等、平成 30 年度も期待ができる。※詳細は別紙当初予算書類を参照。
収入は安定しているが、経費削減や人件費の抑制などの取り組みも引き続き行い、次年度以降に繋がる運営をする所存である。